



第144号

平成 25 年 9 月 20 日 発行

社会福祉法人たまん福祉会
 就労支援センターたまん
 〒901-0362
 沖縄県糸満市字真栄里 857 番地
 電話 098 (995) 1992
 F A X 098 (995) 1310
 メール info@taman.or.jp
 HPアドレス <http://www.taman.or.jp/>



今月の予定

- 9月 18日(水) 支援会議
- 9月 19日(木) 八月十五夜 (午後休み)
- 9月 23日(月) 秋分の日
- 9月 24日(火) 第三者委員会
- 9月 25日(水) 支援会議
- 9月 28日(土) 余暇活動支援
- 10月 2日(水) 業務調整会議・職務会議
- 10月 8日(火) 給食会議(サン班)
- 10月 9日(水) 支援会議
- 10月 11日(金) 利用者ビジネスマナー研修(移行)
- 10月 12日(土) たまん家族会
- 10月 14日(月) 体育の日
- 10月 16日(水) 支援会議

★新利用者紹介★



平成25年9月1日より“たまん”の新メンバーとして加わりました島袋司(しまぶくろつかさ)さんです。

現在2階のサン班で頑張っています。色々な作業に興味を持ち、取り組んでいます。真面目な性格で、休憩時間も黙々と作業をしている様子が印象的です。頑張りすぎないかちょっと心配ですが、サン班で楽しく作業ができればな～と思っています。よろしくお願ひします。

第2回職員施設内研修

平成25年8月28日(水)たまん食堂にて、第2回職員施設内研修を行いました。今回の施設内研修では、當銘支援員が受講した「職業リハビリテーションセミナー(千葉県)」、玉城久・新垣勇樹の両支援員が受講した「日本セルフセンター研修(東京都)」、施設長・喜屋武よしの支援員が受講した「全国社会就労センター総合研究大会(北海道)」、野原由勝支援員が受講した「てんかん基礎講座(大阪府)」の研修報告を行いました。「てんかん」については各支援員も関心があり報告後、質問が殺到、事例を挙げその対処法などを学びました。また、

他の報告内容で共通していえることは利用者の生きがいとはなにか? 「自分はかけがえのない人」「必要とされている人」と利用者に思わせられるようにすることが私たち支援員の重大な役割だということを感じました。



糸満市手をつなぐ育成会 親子にこここバーベキュー



平成25年8月4日(日)に豊崎の美らSUNビーチにて「糸満市手をつなぐ育成会親子にこここバーベキュー」を行いました。

バーベキュー当日は、みんなでマリンスポーツ体験や海水浴を楽しんだ後に、お腹いっぱい美味しいお肉や野菜を食べました。バーベキューの後には、恒例のすいか割りを行い、みんなでヒントを出し合いながら終始楽しく行うことが出来ました。天気にも恵まれ、とても楽しい1日を過ごす事が出来ました(^o^)



はい!肉も野菜も
どんどん食べてよ~!

余暇活動支援【調理実習】

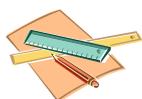
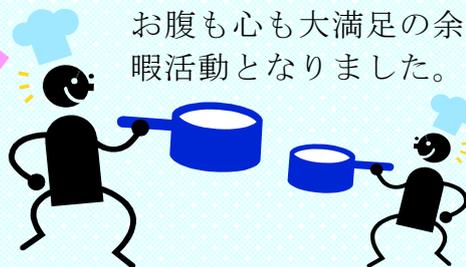


平成25年8月24日(土)余暇活動支援の一環として、たまん2階の食堂にておやつ作りを行いました。今回のメニューは「カレーライス、サラダ、カップケーキ」です。それぞれの料理の担当ごとに別れて挑戦しました。野菜を切ったりサラダやカレーを混ぜたり皆で協力して取り組んでいました。楽しそうに作業をする利用者や普段慣れない作業で緊張気味の利用者等様々でしたが、調理後は自分たちで調理したカレーライスやサラダを笑顔

で美味しそうに食べていました。

食後のデザートにアイスを食べ、手作りのカップケーキはお土産として各々持って帰りました。

お腹も心も大満足の余暇活動となりました。



—利用者ビジネスマナー研修—



平成25年8月22日(木)たまん2階食堂にて、利用者ビジネスマナー研修が行われました。今回のビジネスマナー研修は、トライ班の皆さんが参加し「言葉づかい、使ってはいけない言葉」のテーマで、「丁寧な言葉遣い」や「自分が言われて嫌な言葉」をグループに分かれて考えました。普段の作業で使い慣れている言葉の他に、たまんの仲間同士での普段の会話等からもたくさんの意見が発表されました。たまんの仲間同士がよりよい関係、楽しい職場づくりが出来るようになるとても意味のある研修になったと思います。

**【介護等体験】沖縄県立芸術大学・沖縄女子短期大学・琉球大学・沖縄国際大学・沖縄大学
【県立高等学校初任者研修】糸満高等学校・沖縄水産高等学校**



平成25年8月5日(月)～9日(金)の5日間、沖縄県立芸術大学より稲嶺和音さん、沖縄女子短期大学より下地あすかさん、中川将太さんが介護等体験、同じ日程で糸満高等学校より盛田彬彦さん、比嘉明枝さん、沖縄水産高等学校より比嘉律さん、潮崎征孝さんが県立高等学校初任者研修に入りました。

体験終了後には「みなさん優しく、笑顔で接してくれたので、とても楽しく実習をすることができました。名前を覚えてくれたり、ハイタッチをしてくれたり、お手紙をくれたりすごく嬉しかったです。今回たくさん学ぶことができたので、これを活かして頑張っていこうと思います。稲嶺和音」「利用者の方々と話したり、分からないことを教えてくれたり色々に関わる事ができて良かったです。皆さんとても優しく5日間本当に楽しかったです。皆さんの笑顔がとても素敵で毎日元気をもらえました。貴重な体験ができて本当に良かったです。下地あすか」「この5日間本当に充実して体験をすることができました。本当に楽しかったです。たまんの皆さんありがとうございました。今度また会う時があれば宜しく願います。中川将太」

「社会福祉体験研修を通して勤労の大切さを学びました。就労支援センターたまんの職員利用者の一人ひとりの物づくりに対する懸命な姿に心をうたれました。就労支援センターたまんさんで学んだ奉仕の精神を忘れず、学校の教育活動全体に全力で取り組んでいきます。本当にお世話になりました。また、たまん祭でお会いしましょう。初任研者一同」と頂きました。みなさん一週間お疲れ様でし(^-^)



平成25年8月12日(月)～16日(金)の5日間には、沖縄大学より西川勢一さん、神谷涼香さん、赤嶺尚美さん、仲尾次綾乃さんが介護等体験に入りました。体験終了後、「この5日間、利用者の方々や作業を通して沢山のことを学び取ることが出来ました。この介護等体験で学んだことを、これからの教職にしっかりと活かせるように頑張ります。

5日間ありがとうございました。西川勢一、神谷涼香、赤嶺尚美、仲尾次綾乃」と感想を頂きました。

平成25年8月26日(月)～30日(金)の5日間、琉球大学より目差尚太さん、黒園恭剛さん、沖縄国際大学より平良和香奈さん、沖縄県立芸術大学より伊志嶺舞那さんが介護等体験に入りました。



体験後には「実習期間はとても刺激的で本当に楽しい体験をさせて頂きました。トライ班、サン班にしても大地班にしても学ばせて頂くことが多かったです。みなさんと一緒に働かせて頂いて、仕事をするうえで自分に欠けていたもの、そしてないより皆さんの事を短い間ながらも沢山知ることが出来たことは、これからの自分には欠かせないものであると思います。本当にありがとうございました。そして実習を受け入れ、さらに疑問に思ったことに対して色々お話してくれた“たまん”の施設長、支援課長、職員の皆様、本当にありがとうございました。目差尚太」と感想を頂きました。みなさんお疲れさまでした(^-^)

🌸🌸🌸🐣🌸🌸🌸 **ボランティアありがとうございました。** 🌸🌸🌸🐣🌸🌸🌸

神谷司さん、山城直枝さん、照屋健裕さん、徳嶺勝美さん、新城加代子さん

「たまん」を検索!

